

大阪産業大学
入試対策講座
英 語

夕陽丘予備校
英語講師
藤森 友介

専修学校 夕陽丘予備校

大阪産業大学 出題傾向

【全体の傾向】

○公募推薦 前期 A 日程、B 日程、後期日程

I	(A) 長文読解	設問数 5	
	(B) 長文読解	設問数 5	全て 3 点 (総計 30 点)
II	文法・語法 4 択空所補充	設問数 5	全て 4 点 (総計 20 点)
III	整序英作文	設問数 5	全て 4 点 (総計 20 点)
IV	(A) 会話文空所補充	設問数 5	
	(B) 会話文空所補充	設問数 5	全て 3 点 (総計 30 点)

【対策】

① 長文読解 ⇒【徹底的に構造・品詞を意識しよう】

まずは短い英文において適切な構造をしっかりと把握すること。その英文をフィーリングではなく、確実に構造に則った上で和訳できるようにしてほしい。その際に重要なのが品詞の概念の理解である。英文の中での各品詞の役割を適切にマスターし、与えられた英文をしっかりと品詞分解出来てこそ、初めて英文の構造を理解したといえることができる。従って、短めの英文を和訳することが出来る基礎的な英文解釈の問題集でしっかりと構造を取って読むという訓練を積んだのちに、複数のパラグラフからなる長文問題を演習する、という学習方針をおすすめする。

また、年々特にこの大問 1 の長文においては語彙レベルが上がり、論の流れも複雑になってきている印象を受ける。単語学習は日々怠らず行おう。

② 文法・語法 4 択空所補充⇒【着眼点を持とう】

「見たことある！」でなんとなく答えを出しているようでは点数を取ることができないであろう。解きながら、「なぜこの答えになるのかわからない」個所にチェックし、不明な個所は必ず英文法・語法のポイントを高校入学時に配られる総合英語の参考書等で調べ直し、基礎的な文法範囲の考え方を理解しながら演習量を増やしていくのが望ましい。そして、最終的に過去問演習の際には、例えば「この問いの着眼点は関係詞だ」と自分でどの範囲の文法・語法が問われているか着眼点ができるようになっていくのが望ましい。

③ 整序英作文⇒【5文型をわかった上で適切な英文を作ろう】

文法・語法の知識を使いながら5文型の理論に則った上で適切な英文構成力を養う必要がある。従って、②とも繋がるが、基礎的な入試用の文法・語法問題集を使いながら、文の中心となる動詞の決定とその動詞が第何文型を主に取ることが出来るかを考えながらしっかりと演習を積み重ねていってほしい。

④ 会話文⇒【前後の流れをしっかりと捉えよう】

会話の流れを正確に捉える練習を重ねていってほしい。その為には代名詞が何を指しているのか、この疑問文では何を聞かれているのか、どのような話題について会話がされているのか、という文脈把握に関する事項を確実に抑えて読んでいく訓練をしよう。会話の着眼点と長文の着眼点は似ていることが多々あるので、長文に比べて語数が少ない会話文の流れが正確に捉えられるようになると、長文読解の展開も正確性を増すだろう。